



National Institute of Technology, Hiroshima College Library

# 図書館だより 第54号

2021年（令和3年）3月31日  
独立行政法人国立高等専門学校機構  
広島商船高等専門学校



花桃の咲く邑南町（島根県）の集落

## — 目次 —

コロナ禍における読書のすすめ—ネットに踊らされないために—……図書館長	風呂本武典 (2)
多様性を育て、豊かに……	流通情報工学科 小川 春樹 (2)
ステイホームで楽しもう……	商船学科 加藤 由幹 (3)
たいせつなことと、正しいこと……	一般教科 藤沢 徹也 (4)
少しずつ読書をしてみよう……	流通情報工学科 藤原 宗幸 (5)
仕事ができる人になろう！……	商船学科 岩切 敬晃 (6)
<職員のおススメ本>……	(7)
<トピックス>	
古いコンパスを寄贈いただきました……	(8)
女性問題に関する本のコーナーを作りました……	(8)
国立国会図書館のデジタル化資料を商船図書館で利用できるようになります……	(8)
編集後記……	(8)



図書館入口のコンパススタンド

## <巻頭言>

# コロナ禍における読書のすすめ

— ネットに踊らされないために —

図書館長 風呂本 武 典

コロナ禍によって世界が一変してしまっただけでほぼ一年になる。学校生活も大きく変わり昨年は遠隔授業に自宅待機や行動制限などから、学校での学習や課外活動を十分に行えないままに過ごすことになってしまい学生諸君は不便で辛い思いをしたことと思う。

外出が制限され、また人と会うことが制限される世の中で、情報収集やコミュニケーションのツールとして今まで以上にインターネットは大いに利用されることとなった。既にネット社会で育ってきた学生諸君はコミュニケーションにSNSを使いこなし、リアルで人に会うことや体験すること（まあ授業が楽しみ、とはさすがに本音では言いにくいだろうけど）ができない物足りなさがあったと思うが、勉強や調べ物や買い物、日常生活全部スマホで済ますことも今までの生活の延長でごく普通にやってきたであろう。例えば遠隔授業などでは外出を控える中で自宅に書物が無ければ課題をネットだけで済ませることも可能であったと思われる。いちいち本を探して広げて読まなくても、たいいていのことは検索すればネットに載っている。こんな便利なものはない。

しかし、そのネット情報は本物だろうか。特にコロナ禍になってからは世界中みんなが、先行きが見えない不安から様々な憶測を飛ばしあいそれがSNSで拡散されるという現象が頻発している。しかもその拡散される情報はツイッターなどに代表されるようにたった数十行の断片的なものでしかも裏付けのないものが

多い。専門的な知識までいかずとも、社会科学や自然科学の基本的な知識があれば簡単に見破れるような嘘やフェイクニュースに人々はこれまた簡単に引っかかっているのである。アメリカの大統領選挙では、相当にとんでもない情報が流布したものである。ネット情報というものは玉石混交、きちんと出典が明記されて責任ある発信元もあれば、いい加減な知ったかぶり情報も沢山ある。

つつい安易にネット検索をしてしまうだろうが、よくよく注意しないと騙されるし自分が拡散して嘘に加担してしまう危険もある。ネット情報とて元の情報はある。それが実はまとまった情報として書籍という形で昔から世の中には存在しているのだ。本であれば誰が何のために書いたか、あるいはどうやって書かれたかが一目瞭然、きちんと書かれた本もあれば、当然世の中にはトンデモ本という嘘だらけの本もあって怪しいネット情報はそこが出どころなんて場合も多い。まずはネット情報できっかけを掴むのは大いに結構、ただしそこから真偽を確かめることは必要だ。図書館は閉館していて学校の閉校中はお役に立て無かったが今は開館している。新聞や雑誌もあるしネットで気になったちょっとしたことを調べる立ち読みでもよいから、図書館を訪れて責任所在の明確な書物を手に取って正しい知識を得ることで、怪しいネット情報に踊らされない人になって欲しい。

## <寄稿>

# 多様性を育て、豊かに

流通情報工学科 小 川 春 樹

インターネット技術の普及やボーダーレス化した交通網の整備により、様々な文化や社会、価値観に触れることができる機会が増加しています。そのおかげで多くの人が国内だけでなく海外のものごとへ関心を示し、その経験をすることができる機会が増えたことで

しょう。それらは私たちの日常的に触れているものとはとても異なったり、とても似ていたりします。異なる文化や考え方を学び、理解していくことは多様性を豊かにすると考えられます。私の紹介したい本は、ブレイディみかこさんの著した「ぼくはイエローでホワイト

トで、ちょっとブルー」という本です。イギリスに住む男の子の日常を日本人である彼の母親の目線から描いています。人種や社会的格差、ジェンダー問題などを親子でともに悩み考え、彼らなりにそれらを乗り越えてゆきます。彼は彼の成長とともに自身のアイデンティティについて悩み、時には周りと衝突します。本の名前にもあるように彼はイエロー＝アジア人であり、ホワイト＝白人であり、ブルー＝不安などで気分が晴れない状態や気分と自分自身を色で表します。色々なものごとに触れ影響を受け、その色は変わってゆきます。難しい言葉を使わず、素直にストーリーが描かれており読みやすい本であると思います。

「多様な社会で生きることはしんどい」と、私は感じます。新型コロナウイルス感染者増加によるアジア人差別はヨーロッパでひどく見受けられます。2020年、ベルギーの学生であった私は広範囲の厳しいロックダ

ウンを経験し、その渦中アジア人に対する差別被害を多々耳にし、経験しました。多様性の理解を世界で牽引していると見られている欧州でも過激な差別意識が表面化することもあります。それは日常に差別意識は潜在しますが、理性をもってそれを制しているからではないでしょうか。言葉の節々にそのような差別的な香りを感じることはあるでしょう。お互いに異なり、様々な人が存在する世界で、その違いを意識しないことのほうが困難です。そのうえでお互いに尊重しあい理解しあう、つまり多様性を豊かにすることがこれからの社会では求められるのではないのでしょうか。

何でも多様性が豊かであればいいわけではないが、それが自然と多様であり理解されるべきときが近年増えていることは間違いのないと思います。多様性を理解しこれからのこの社会のどこかで生きてゆくならば、この本から学びうることがあると感じています。



## ステイホームで楽しもう

商船学科 加藤 由 幹

図書館だよりへの寄稿。さて、何を書こうかと考えました。折角なので、学生の皆様が今後生きるうえで指針となるような自己啓発本を紹介しようと考えましたが、その種の本は読んだことがありません。書店で探すという手もありましたが、寄稿の為に自己を啓発されにいくというもおかしな話です。ということで今回は、今まで読んできた小説の中で特に面白かったものを二つ紹介しようと思います。

### ・ドクター・デスの遺産

(著：中山七里)

この作品は「安楽死」をテーマにした推理小説です。患者本人からの同意を得て安楽死を施すドクター・デスを、主人公の刑事犬養が追います。現在、日本では安楽死は違法です。しかし、患者が病気により耐え難い苦痛を感じている、完治の見込みがない、高額な

医療費が家計を圧迫する、患者本人が死を望んでいる、そんな状況で本当に安楽死が悪と言えるのか。犬養は安楽死が、そしてドクター・デスが善か悪か、葛藤しながら捜査を進めていきます。近年、カナダ/韓国/オーストラリアで相次いで安楽死が合法化されました。日本もまた、犬養の様に葛藤しなければならない時が迫っているのかもしれない。

作品のテーマはさておき、この小説は最後のどんでん返しも面白いです。推理物はよく読むので、ミスリードには引っ掛からない自信があったのですが、見事に騙されました。犯人を予想しながら読むと、より楽しめると思います。尚、最近映画化もされましたが、どんでん返しの部分は本の方が楽しめると思いますので、まずはご一読をお勧めします。



## ・クビシメロマンチスト

(著：西尾維新)

こちらはテーマ不明の推理小説です。西尾維新先生の作品は好きなのでよく読んでいますが、これはその中でも一番普通というか、超人／超常現象が少なめなので誰にでも楽しめると思います。舞台はとある大学、主人公の青年はクラスメイトと穏やかな学生生活を過ごしていたが連続殺人犯が登場し事件に巻き込まれていく、という内容です。設定としてはありがちですが、物語の展開や主人公の行動が予想しない方向へ向かうので、読んでいてとて



もワクワクします。また、大学生のクラスメイト同士の会話もユーモアがあり面白いです。大学生活の描写も割とリアルなので、大学編入を考えている方にもおすすめです。入学後のイメージを膨らませることができて、楽しめると思います。

さて、今回は二つの小説を紹介いたしました。実はどちらもシリーズ物の2、3巻目なのですが、主要人物の紹介はあるので、前作を読まなくても楽しめると思います。コロナ禍で外出が難しい日々ですので、ステイホームで、小説を読んで楽しんで頂ければ幸いです。

## たいせつなことと、正しいこと

一般教科 藤 沢 徹 也

「先生……」

「うん？」

「たいせつなことと、正しいことって違うんですか？」

先生は少し考えて、よくわからないんだ、先生にも、と言った。なにそれ、無責任、と目元を指で拭いながら口をとがらせたなら、わからないんだけど、と言葉がつづいた。

たいせつじゃないけど、正しいこと、あるよな。しょうがなくて正しいこと、やっぱりあるし、ほんとうは間違ってるのに正しいことも、あるよな。

そんなの、たくさんある。新聞やニュースにもたくさん出ている。

正しくなくてもたいせつなことだって、あるんだ。でも、たいせつじゃない、たいせつなことは、絶対にないんだ。たいせつなことは、どんなときでもたいせつなんだ。

中学生でも高校生でも。おとなでも子どもでも。



これは、重松清著『青い鳥』（新潮社、2010年、354-55）からの引用です。「間違ってるのに正しいこと」になっていることには、どんなものがあるのでしょうか？

ハンス・ロスリング主著 *FACTFULNESS*（日経BP社、2019年、上杉周作・関和美 訳）の訳本からの質問です。考えてみてください。

質問1 現在、低所得国に暮らす女子の何割が、初等教育を修了するでしょう？

A 20% B 40% C 60%

質問6 国連の予測によると、2100年にはいまより人口が40億人増えるとされています。人口が増える最も大きな理由は何でしょう？

A 子供（15歳未満）が増えるから  
B 大人（15歳から74歳）が増えるから  
C 後期高齢者（75歳以上）が増えるから

質問9 世界中の1歳児の中で、なんらかの病気に対して予防接種を受けている子供はどのくらいいるでしょう？

A 20% B 50% C 80%

質問10 世界中の30歳男性は、平均10年間の学校教育を受けています。同じ年の女性は何年間学校教育を受けているでしょう？

A 9年 B 6年 C 3年

答え：質問1 C 質問6 B  
質問9 C 質問10 A

これらの質問に対する正解率は極めて低いそうです。私たちはデータを参照せず、思い込みで世界を見ていることになります。それが世論となり、選挙を意識した政治家はその世論を無視することができません。また、この思い込みにつけ込んで、金儲けをする人もいるでしょう。「間違ってるのに正しいこと」になっているのは、私たちの思い込みのようです。

橘玲著『事実 VS 本能：目を背けたいファクトにも理由がある』（集英社、2019年）からです。以下のことはデータで裏付けされているそうです。

- ①日本人のおよそ3分の1は日本語が読めない。
- ②日本人の3分の1以上が小学校3～4年生以下の数的思考力しかない。
- ③パソコンを使った基本的な仕事ができる日本人は1割以下しかない。
- ④65歳以下の日本の労働力人口のうち、3人に1人がそもそもパソコンを使えない。



橘氏は他の著書でも、遺伝で多くのことが決定されていたり、仕事ができる人より上司にごまをするの方が成功しやすかったり、中身よりまずは外見が大事だったり、とさまざまな不愉快な（残酷な）事実を紹介しています。

また、藤森かよ著の『馬鹿ブス貧乏で生きるしかないあなたに愛をこめて書いたので読んでください。』



（KKベストセラーズ、2019年）は、タイトルは過激ですが、様々な本を紹介しながら特に女性がどのように生きていったらいいかについてのヒントを示してくれています。「世の欺瞞に騙されようにすること」について書かれたところ

で、明治維新に関してこう触れています。

幕末明治の内乱の実相は、薩長に武器を売りたいイギリスと、幕府に武器を売りたいフランスの帝国主義的代理戦争だった。アメリカも参入するつもりだったが、自国で南北戦争が勃発したので、日本支配については出遅れただけだ。（中略）明治維新は、日本人が世界の近代化の波に遅れまいと自力で成し遂げた革命ではなかった。極東の離れ小島の士人たちが西洋に好き勝手に操られた茶番劇だった。」（82）

どこまで正しいといえるのかはこれだけでは判断できませんが、副島隆彦著『思想劇画 属国日本史 幕末編』（コミックス出版、2019）からの受け売りということなので、まずは、その本を読んでみないとはいじまりません。いずれにせよ、「間違ってるのに正しいこと」にしているのは、直視したくない事実なのかもしれません。

自然科学の世界では、「間違ってるのに正しいこと」はおそらくありえないのだと思いますが、正面からそれに向き合うことができるのが文学といえるのではないのでしょうか。そんな学問に私は携わっています。学生としてのみなさんの「たいせつなこと」は、どんな科目も一生懸命勉強することなのでしょうか？

## 少しずつ読書をしてみよう

流通情報工学科 藤原宗幸

昨年から猛威をふるっているコロナウイルス感染症。ワクチンができた、新型のコロナウイルスが出てきたなど、まだまだ収束するまでに時間がかかりそうですね。このような状況の中皆さんはどのように過ごしていますか。SNSやYoutube、Netflix、Amazon

video、TVer、TikTok、nana、Upliveなど時間をつぶす方法はいくらかもあります。

学生時代に時間をどのように使うかは自由ですが、社会人になると思うような時間がとれません。また驚くことに学生時代より社会人になってからのほうが勉

強をし、本をよく読むようになったという友人が多いです。そこで本を読む習慣がない人でも読める本も含めて4冊紹介しようと思います。

### 1冊目：空想科学読本シリーズ

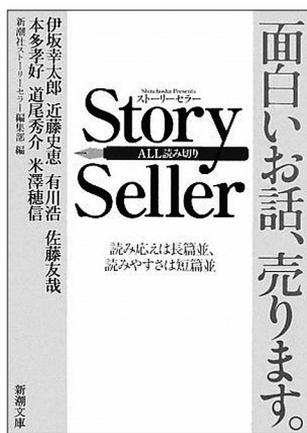
本自体は慣れてない人には少し分厚く感じるかもしれません。内容は漫画やアニメの世界を真面目に科学的に検証をするものになっています。読書が苦手な人にも楽しんで読めるものだと思います。

### 2冊目：Story Seller シリーズ

6～7人の作家で構成されている短編集です。好きな作家さんの作品だけ読むのもよし、初めて出会う作家さんの作品を読むのもよしの一冊です。文庫本で短編なので隙間時間などに読みやすい。この本で好きな作家を見つけて他の作品もチャレンジしてほしいです。

### 3冊目：最高の体調

現代社会の問題としてよく取り上げられる、疲労・



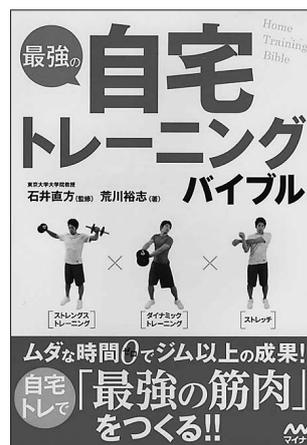
面白いお話、売ります。

肥満・不眠・不安・病気・老化のこれら全ては一見違う問題からおこるように見えて実は根本原因が同じものではないかと述べているところがあります。また冒頭に『この本の目的は、あなたの日々の不満や不調を根こそぎ解決し、あなたが生まれ持つ最大のパフォーマンスを引き出すお手伝いをすることです。』と記されています。疑って読んでみるのも面白いかもしれませんね。

### 4冊目：自宅トレーニングバイブル

コロナの状況を境に健康を気にする人が多くなりました。その中でトレーニングを正しくしたい人におすすめです。この本に限らず多くの本があるので自分にあったトレーニングをしてください。また忘れがちなストレッチを忘れずする必要があります。

まずは興味があるものから少しずつ読書の習慣をつけ、いろんな分野の本にもチャレンジしてみよう。



## 仕事ができる人になろう！

商船学科 岩 切 敬 晃

仕事ができる人ってどんな人だろうか？よく『東大卒なのに仕事ができない』とか『中卒なのにすごい仕事をする』など、仕事の良し悪しを学歴に例える人がいるが、これは大きな間違いです。仕事とはほんの少しの気遣いや考え方を変えることで『コツを掴む』ことさえできれば格段に捗るもの。ぜひ、コツを会得して近い将来に就職した後、会社のなかで頼られる人になって明るい未来に変えてみませんか？

そこで今回、私が紹介する本は河野英太郎著、厚徳

社出版の『99%の人がしていないたった1%の仕事のコツ』です。この本には仕事を効率的に進め、かつ目標を達成するための87個のコツ（テクニック）が記されている。自分の『やる気スイッチ』ならぬ『できるスイッチ』をONにしてみませんか？

本書の冒頭に「『まじめ』と『みじめ』は1字の違い」という印象的な文章があります。もちろんですが、これは『まじめ』がいけないというものではありません。はき違えた『まじめ』さは、その人の誠実な本意に反

して『まじめ』な結果をもたらすということを実証している一文なのです。スポーツ心理学の世界に「逆U字」と呼ばれる学説があるそうです。これは「まじめ」過ぎて、その人の仕事の効率や結果は伴わないというものです。もちろんですが、「まじめ」は論外で、結果は出せないでしょう。しかし、『過ぎたるは及ばざるが如し』と言うことわざの様に「まじめ」過ぎては逆効果になって

しまうのです。では、どうすれば良いのでしょうか？これは「まじめ」に対する考え方を少し工夫すれば良いのだそうです。要は「モノは言いよう」です。仕事を効率的に進め、かつ目標を達成するためのコツ（テクニック）のヒントの1つを紹介します。

目標達成のコツとして、『すぐやる』ことです。「まずは一息」や「あとで対応しよう」という方針は『大きな落とし穴』です。その場やすぐにやれば1～2分で済んだことが後になれば数十倍となって襲い掛かってきます。言われたことや、学んだことはすぐに実行



することが、意外なほどに簡単に結果につながります。また相手がいる案件であれば、『すぐにやる』ことで圧倒的なスピード感を与えることができ、時には感動をもって自分をアピールする（印象付ける）ことにつながるでしょう。

また「すぐやる」につながるものとして『とりあえず』ではなく『まず』としてみるというものもあります。『とりあえず』は先行きが見えていない「あや

ふや」な表現です。不安感や頼りなさが滲み出てしまいます。また、仕事における『とりあえず』はやつつけ仕事の感さえしてしまうでしょう。この『とりあえず』を『まず』に変えることで生まれてくるものが『次に』という先行きを明確にする安心感です。言葉には相手に与える印象だけではなく、自分の行動にも影響してくるものです。

ぜひ皆さんも日頃の『まじめ』さをちょっとした工夫で、将来へつながる明るいものに変えてみませんか？

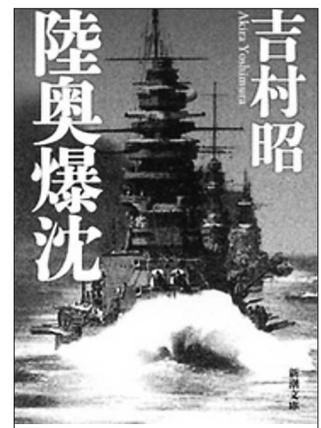
## 職員のおススメ本



菅田哲也著『武士道セブentyーン』は、最近読んだ本のなかで、とりわけ感動させられた本です。剣道に打ち込む二人の女子高生、香織と早苗は、剣道のスタイルも性格も対照的。その二人が、理想の剣道の在り方を求めながら成長してゆき、いつしか強い友情で結ばれるようになる様子が描かれます。好きなことに打ち込み、それを通じて絆を深められるのは10代のすばらしい特権だと思います。同じシリーズの『武士道シックスティーン』『武士道エイティーン』も読んでみましたが、初めての方にはまずこの『セブentyーン』から読まれるのを勧めます。

昭和18年6月、日本海軍の戦艦陸奥が、原因不明の爆発を起こして沈没しました。死者は千人以上。吉村昭著『陸奥爆沈』はこの事件を題材にしています。事件に関心を持った著者が調査を進めるうち、過去にも日本の軍艦が何度も爆発事故を起こしており、原因はいずれも放火など人為的なものであったこと、そして不祥事の隠いや陰湿ないじめの横行など、事故を引き起こす海軍の体質的な問題が明らかになってきました。こうしたことは、最近の官庁や大企業の不祥事にも当てはまる部分があるように思います。そして、陸奥爆沈についても驚きの事実が…。

ヤマザキ・マリ著『ヴィオラ母さん』は、漫画家の著者が、自身の母「リョウコ」について書いた本。「リョウコ」は東京の良家の娘に生まれるも、ヴィオラの面白さ



に目覚め、出来たばかりの札幌交響楽団の団員となるため家出同然で札幌に移住。夫を早くに病気で失い、仕事をしながら二人の娘を育てますが、その子育ては常識に捕われぬ、全く自由で破天荒なものでした。ヤマザキ・マリさんによる、何やら不穏な空気をただよわせる「リョウコ」の挿絵も印象的です。フルタイムで働く女性がまだ珍しかった時代、こうした生き方に伴う困難は大変なものだったでしょう。しかし、広い世界で自由に生きることの素晴らしさを母から学んだと、ヤマザキ・マリさんは言います。

## トピックス

### 古いコンパスを寄贈いただきました

図書館のカウンターに置かせていただいた、古いコンパスは「広島商船高専大崎上島歴史文化研究会」の活動で、大崎上島に縁のある海事に関することや広島商船の歴史資料をまとめる中で、発見や収集した資料の1つです。

このコンパスは、昭和初期のものだと思いますが、将来の標となる書籍がある図書館で、みなさんにとって良い針路を見つけてもらえるように見守ってけると願っています。展示に向けて、広島丸の機関部で整備をしていただきました。

図書館の入口のコンパススタンド、応接室のドライコンパス、図書館内階段途中の写真パネル「聖観音：本校旧職員 若杉慧先生の作品」なども同様に発見したものを整備して展示しています。(広島丸 清田)



### 女性問題に関する本のコーナーを作りました

令和2年4月より、国立女性教育会館から女性問題をテーマとした書籍50冊を借り受け、専用のコーナーを設置しました。本は広島商船図書館の本と同じように2週間の館外貸し出しができます。本の中身は3か月おきに入れ替わります。場所は階段側の入館ゲート付近です。

### 国立国会図書館のデジタル化資料を商船図書館で利用できるようになります

このサービスは、国立国会図書館のデジタル化資料のうち、絶版等の理由で入手困難な資料を全国の特定の図書館の館内で閲覧したり複写できるものです。令和3年4月より、広島商船図書館でも利用できるようになります。とくに著作権保護期間が満了した国内の資料を探す際に役立ちます。ご希望の方は図書館のカウンターで申込みの後、カウンター横のパソコンで利用をお願いします。

## ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 編集後記 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

この「図書館だより」は毎年夏と冬の2回発行していますが、昨年夏は担当者が病気療養中のため発行できず、1年ぶりの発行となりました。昨年は新型コロナウイルス感染症流行のため、図書館も時間外閉館の中止や臨時閉館、毎年行っている文献検索講習会や図書館ミニコンサートの中止など、サービスを大幅に縮小せざるを得ない状況でしたが、対面授業が再開され、皆さんが再び図書館に来られるようになると私たち職員もホッとした気持ちになりました。

今回は新任の先生方をお願いして、本を紹介する記事を書いていただきました。寄稿いただいた先生方、有難うございました。紹介いただいた本で図書館にないものは順番に購入していますので、自宅で時間を過ごす際にぜひ活用下さい。

◇編集発行：図書館運営委員会（令和2年度）：風呂本武典（図書館長・流通情報工学科）・山下航正（一般教科）・清田耕司（商船学科）・田上敦士（流通情報工学科）・峠正範（電子制御工学科）

◇〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野4272-1 / TEL：0846-67-3007

◇ホームページ：https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/facility/lib.html